

【フラット35】(公庫証券化支援住宅)とパーフェクトバリアの関係について

■【フラット35】のすべての新築住宅は省エネ基準への適合が必須となります。

2023年4月以降 設計検査申請分から	2025年度の新築住宅の省エネ義務化に先行して 【フラット35】のすべての新築住宅は省エネ基準への適合が必須となります。			
これまで	→	2023年4月以降設計検査申請分から		
断熱等性能 等級2相当以上		「断熱等性能等級4以上かつ一次エネルギー消費量等級4以上」 または 「建築物エネルギー消費性能基準」		

※【フラット35】S等の金利引下げメニューの適用の有無にかかわらず、すべての新築住宅において、基準を満たすことが必要となりますのでご注意ください。

■パーフェクトバリアの断熱等性能等級4・誘導基準(等級5)の仕様基準に見合った断熱材の厚み。

部位別に熱抵抗値（R）の仕様基準が定められています。『表1・3』パーフェクトバリアをその基準にあてはめると地域別に『表2・4』となります。

『表1』断熱等性能等級4仕様基準の基準熱抵抗値（R）単位:m²・K／W

断熱等性能等級4仕様基準			地域				
部位			1・2	3	4	5・6	7
在来工法	床	外気に接する部分	5.2		3.3		
		その他の部分	3.3		2.2		
	壁		3.3	2.2			
	屋根		6.6	4.6			
	天井		5.7	4.0			
枠組壁工法	床	外気に接する部分	4.2		3.1		
		その他の部分	3.1		2.0		
	壁		3.6	2.3			
	屋根		6.6	4.6			
	天井		5.7	4.0			

『表2』ロール10Kの必要最低限の厚み、（ ）内は、30Kボードタイプの必要厚み、〈 〉内は、20Kボードタイプの必要厚み 単位mm

断熱等性能等級4仕様基準			地域				
部位			1・2	3	4	5・6	7
在来工法	床	外気に接する部分	(95X2)		(60X2)		
		その他の部分	〈90〉+(30)		100・(80)・〈90〉		
	壁		(60X2)		100		
	屋根		【30K260】		13Kの100X2・(101+60)		
	天井		【13K270】		100X2		
枠組壁工法	床	外気に接する部分	(80X2)		(60X2)		
		その他の部分	〈90〉+(30)		100・(80)・〈90〉		
	壁		〈88+50〉		13Kを90に圧縮〈88〉		
	屋根		【30K260】		13Kの100X2・(101+60)		
	天井		【13K270】		100X2		

- ※ 長期優良住宅・低炭素住宅は誘導基準(等級5)の仕様基準が使えます。
- ※ 併せて防露対策工事をする必要があります。(詳細は,パーフェクトバリアセンターまでお問い合わせ下さい)
- ※ 【】内は、クリーンブローの必要厚みとなります。

『表3』 誘導基準（等級５）仕様基準の基準熱抵抗値（R）単位:m²・K／W

誘導基準(等級5)仕様基準			地域				
部位			1・2	3	4	5・6	7
在来工法	床	外気に接する部分	5.0		3.4		
		その他の部分	3.3		2.2		
	壁		4.0		2.7		
	屋根		6.9		5.7		
	天井		5.7		4.4		
枠組壁工法	床	外気に接する部分	5.0		3.4		
		その他の部分	3.3		2.2		
	壁		4.0		2.7		
	屋根		6.9		5.7		
	天井		5.7		4.4		

『表4』 誘導基準（等級５）の13Kの必要最低限の厚み（）内は、３０Kボードタイプの必要厚み　〈〉内は、20Kボードタイプの必要厚み　単位mm

誘導基準(等級5)仕様基準			地域				
部位			1・2	3	4	5・6	7
在来工法	床	外気に接する部分	100X2		(60X2)		
		その他の部分	〈90〉+(30)		10Kの100・〈80〉・〈90〉		
	壁		105+(50)		105		
	屋根		【30K270】		120X2・(101X2)		
	天井		【13K270】		10Kの100X2		
枠組壁工法	床	外気に接する部分	100X2		(60X2)		
		その他の部分	〈90〉+(30)		10Kの100・〈80〉・〈90〉		
	壁		〈80+60〉		105 ※壁は2X6		
	屋根		【30K270】		120X2・(101X2)		
	天井		【13K270】		10Kの100X2		

■ パーフェクトバリアの熱伝導率

製 品	熱伝導率λ	断熱材区分
★ ボードタイプ (30 K)	熱伝導率λ＝0.035W/m・K	Cランク
★ ボード・サイドスリットタイプ (20 K)	熱伝導率λ＝0.038W/m・K	Cランク
★ ネダレスボード (20 K)	熱伝導率λ＝0.038W/m・K	Cランク
★ スタンダード・ロールタイプ (13 K)	熱伝導率λ＝0.039W/m・K	Cランク
★ スタンダード・ロールタイプ (10 K)	熱伝導率λ＝0.045W/m・K	Bランク

※フラット35は、（財）建材試験センターのパーフェクトバリア熱伝導率測定結果の使用を認めています。
※必要な断熱材の厚さは、熱抵抗値（R）と熱伝導率（λ）を乗じることにより求めることができます。

■ 開口部の仕様基準について

※開口部の熱還流率の基準が変わりました。単位は小数点2位以下四捨五入となります。

基準の水準	熱還流率の基準値（W/（㎡・K））			
	地域区分			
	1・2・3	4	5・6・7	8
断熱等性能等級4	2.3	3.5	4.7	-
誘導基準(等級5)	1.9	2.3		-

	基準の地域区分 ※詳細の地域区分は公庫の仕様書で確認ください。
1・2	北海道
3	青森、岩手、秋田
4	宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野
5・6	茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、富山、石川、福井、山梨、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分
7	宮崎、鹿児島
8	沖縄